

MURAYAMA CONSTRUCTION

別冊

永久保存版

2013年10月1日発行

株式会社村山土建 法人化50周年記念 《感謝報恩》 特別号



【特集】

平成の村山土建

《選択と集中》

キ
ー
ワ
ー
ド
は
顧
客
創
造

復刻

「漫画 村山土建風雪45年誌」

— 創業からの歴史を学ぶ —

自然とは天道なり

天道は自然にして人道は異なる。
天道は自然にして人道は自然にあらざるなり。
何となればすなわち田畝^{（りく）}荒る。
家屋壊る。
衣服^{（いふく）}蔽^{（おほ）}る。
溝渠^{（こうきょ）}埋^{（うめ）}まる。
堤防^{（ついでい）}潰^{（つぶ）}ゆ。
人五穀^{（ごこく）}を食うためにして、田畝^{（りく）}し、
雨露^{（うろ）}を庇^{（おほ）}うためにして家屋^{（いえ）}し、
寒暑^{（かんしよ）}を防ぐためにして衣服^{（いふく）}し、
田畝^{（りく）}に溉^{（か）}ぐためにして溝渠^{（こうきょ）}し、
水害^{（すいがい）}を除^{（のぞ）}くためにして堤防^{（ついでい）}す。
かつそれ人の生まるるや、
羽毛^{（うも）}なく、爪^{（つめ）}牙^{（は）}無^{（な）}し。
ゆえに衣^{（い）}無^{（な）}く裸居^{（はだか）}するあたわず。
家^{（いえ）}無^{（な）}くして露^{（うろ）}處^{（ところ）}するあたわず。
穀^{（こく）}無^{（な）}くして草^{（くさ）}食^{（く）}するあたわず。
もってその生養^{（せいやう）}を安^{（やす）}んず。
もとよりこれ自然にあらざるなり。
それただ自然にあらず。
ゆえに勤^{（こ）}めざればすなわち保^{（たも）}つあたわず。
これをもつて君子^{（くんし）}天行^{（てんぎやう）}の健^{（けん）}にのっとり、
自らつとめて息^{（いき）}ざるなり。

「天道と人道は同じではない。天道は自然であつて、人道は自然ではない。なぜならば、自然に任せておけば、田畑は荒れ、家屋は壊れ、衣服は破れ、溝や渠は埋まり、堤防は崩れる。人は五穀を食うために田畑を作り、雨露をしのぐために家屋を作り、寒さを防ぐために衣服を作り、田畑に水を引くために溝や渠を作り、水害を防ぐために堤防を通るのである。

一方、また、人は生まれつき羽毛もなく、爪も牙もない。衣服なしで裸でいることはできず、家屋なしで野宿することもできず、穀物なしで草を食うこともできない。それで聖人が人道を立てて、安らかに生活できるようにした。もとよりこれは天道自然ではない、自然ではないからこそ、努めなければ続けることができなないのだ。」

新編高行（聖人本義）一八〇

（右の并書は古語、「田賦を食田」）

土木とは人道なり



「感謝板書」

今年、村山土建は法人化五十周年、沖建設は設立三十周年を迎えることができました。先人の努力に敬意を表し、長年にわたる多くの皆様から絶大な御支援、御愛顧をいただいた御影様です。衷心より厚く感謝と御礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

この五十周年記念誌は、平成二年に創業四十五周年記念として制作した記念誌「漫画 村山土建風雲伝年誌」を複製し、私が平成六年社長就任以来、社員と共に取組んで来た「平成の村山土建」の歩みを月刊誌風にまとめたものです。

特に日頃力を入れております、経営計画書を基にした色々な活動やマネジメントシステムへの取り組みの様子を紹介しております。また、新しい営業所や事業部の様子も載せております。写真と短い文章で構成し、見やすい内容にする様努めました。お気軽に楽しんで見ていただければ幸甚です。

「故水思源」

顧みますと、初代「政一郎」は若い頃から農業の傍ら、製材木造建築業に関わり、それなりの仕事をしていた様です。何より政治に熱心な人でした。二代「二三」は旧制中学校を卒業し、政一郎の手伝いを始めた矢先、出征致しました。

幸いにも終戦となり昭和二十年（一九四五）八月末、帰郷できました。そして同年十月一日、政一郎と共に「村山土建」のカンパンを掲げ建設業をスタートさせました。「風雲伝年誌」で「二三」が書いてありますが、「戦後の混乱期の中、建設業を通じて国土復興、郷土社会の発展に貢献すること」を願っての創業でした。

そして、昭和三十八年（一九六三）二月、株式会社を設立して今日に至っております。創業以来今日まで「この道一筋」に地域の皆様と共に社会資本整備の担い手として、役員社員一丸となって精進努力してまいりました。

経済社会の発展に伴い、広く関係各位のお引立てを賜り、役員社員にも思われ一歩一歩歩容を整え、業績を伸ばすことができました。

「温故知新」

昭和四十年（一九六五）、八箇の地から山本町に移転、四十二年（一九六七）現在地に本社を構えました。四十六年（一九七二）村山石油

開設、五十一年（一九七六）には特定建設業許可を得、協力業者の会「政会」を発足させました。大きな支えができました。そして五十七年（一九八二）定年社員再就職と技能の伝承、直営力強化の為（有）沖建設を設立、三十周年になりました。六十二年（一九八六）にはIT社会の進展を見据え、通信土木を主体とする拠点として大宮作業所を開設、平成四年（一九九二）営業所新築ができました。

二十一世紀を迎えた平成十二年（二〇〇〇）品質向上を図る為、ISO 9001を取得、二十一年（二〇〇九）には同14001も取得いたしました。また、十六年（二〇〇四）に新潟営業所、十九年（二〇〇七）には中越営業所、そして二十三年（二〇一〇）静岡県三島市に東海作業所を開設し、より広くお客様の要望に対応できる体制を整えてまいりました。その間、地球温暖化、環境問題に取り組み、農業林業部門を設立し、十八年（二〇〇六）林業認定事業者、二十四年（二〇一〇）農業法人認定を得ました。企業は「人」と申しますが、それぞれの場面において礎となる人材を得られたことが、何よりの力となりました。

「一灯照隅」

「梁土構木」が土木の語源と言われます。土木・建築を社業と定めて五十年、今日を迎えさせていた。次の五十年に向けて決意を新たに思います。これは、社業とする「建設」とはもの言わぬ神の意志に形を与えることである「一灯」すなわち「社是」とする「いのち（生命・使命）」を輝かす。強く、温かく、そして美しく「一灯」を実践することです。

日本は今、度々「長びくデフレ経済から脱する新たな活力が切望されています。高齡化、少子化が進む地域社会の再生は待た無いです。「一歩前へ」の精神で自主自立の気概と勇気を持って、私達村山土建とグループ各社は力を合わせ、国土を守り、ふるさとの安心、安全を守る担い手として頑張ってください。

常に一隅を照らし、地域と共に、お客様と共に歩み続ける企業を目指してまいります。皆様には、なお一層の御理解と御支援、御愛顧をお願いし、合わせて益々の弊業を祈念申し上げ御挨拶と致します。

世界人類が平和でありますように 合掌

代表取締役社長 村山 政文

平成25年度入社式・経営計画発表会社社長所信

平成25年3月30日

「60歳まで生かされて来て、今日の覚悟」

一、人生二度なし

一、肉体は両親(祖先)から、いのちは天からのいたげきもの

天命、使命を果たして、幸せを実現すること

その為には、世界人類、日本が平和であり、個人家庭会社が健康であらねばならない。逆に個人家庭会社が平和で健康かあるよう努めてゆくことが世界人類日本の平和を実現する礎である

よく働き、よく食べ、よく眠ること。心と体がアレない。

それをどうやるかで宗教になり道徳になり倫理になる

今日から社長としての精め

増其根(バイキゴン)と社風を良くする

一、折りと感謝 「世界平和の折り」(第52期経営計画書P128)

二、食業 体は食べ物によって造られる 石塚左玄

↓板沢如一 食養生原則 若杉友子著 P169

三、「そうじ」「しつけの三原則」場を浄め、時を守り、礼を止す

↓鍵山秀三郎・森 信三

幹を太く、枝葉を繁く、薬花を咲出する為には細根を養わねばならない。

そして志づくりが第一です。

すなわち、社員一人と共に人間力を養うことです(尚書勸学)。

社是 いのち(生命・使命)を輝かす。強く、温かく、そして美しく

社命 もの言わぬ神の意思に形を与えること 真善美

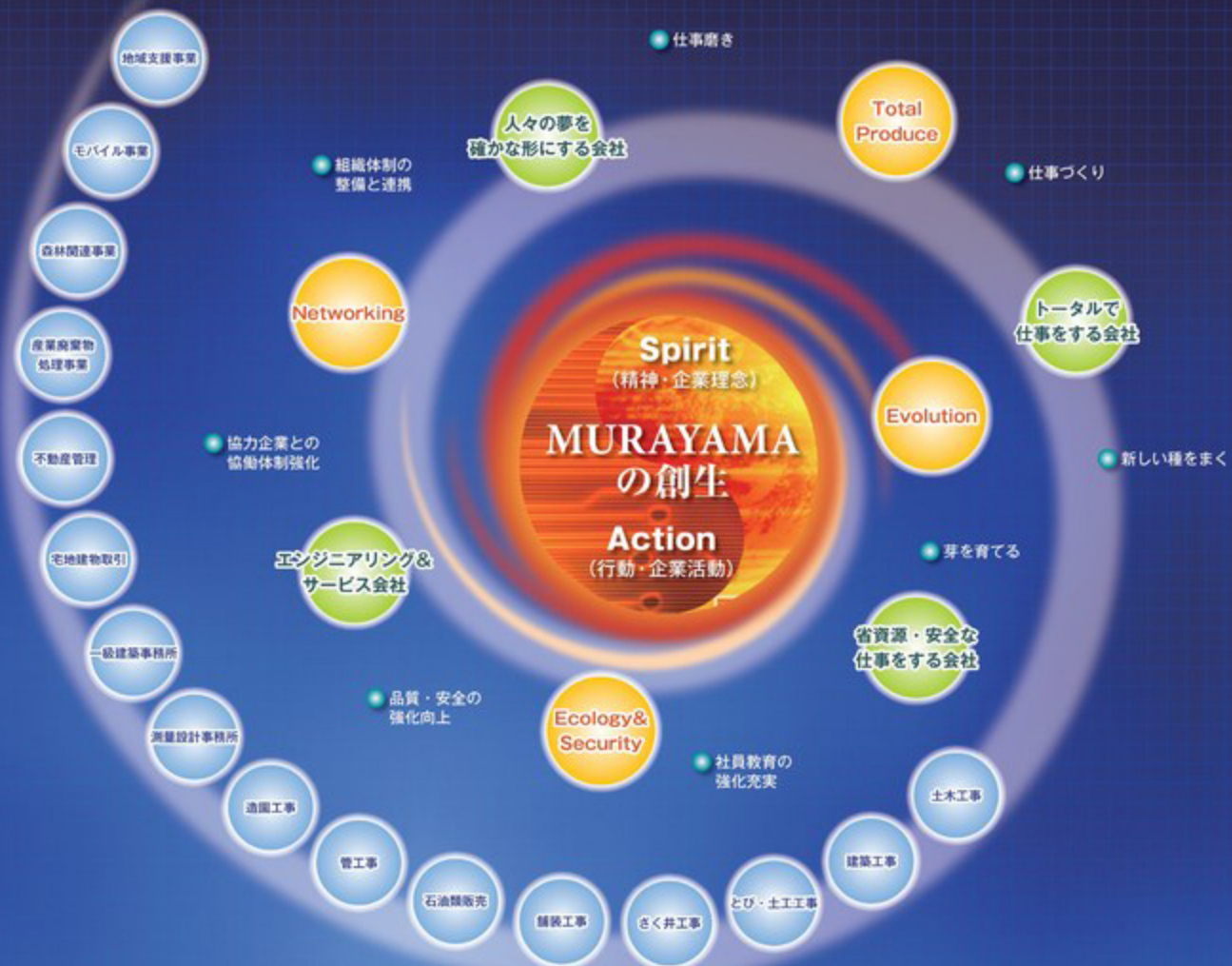
経営基本方針 一、喜働自献 二、和敬興福 三、成徳運材

給身はお客様から ポーナスは社長 実施責任と結果責任

70歳でバトンタッチする

代表取締役社長 村山敬文 拝





MURAYAMAの創生

- 4つの keyword
- 4つの事業方向
- 8つの方針
- 16の事業領域

MURAYAMA Evolution Spiralは「易」の生成論に着想を得てデザイン化したものです。太極は万物の根源であり、ここから陰陽の二元が生ずるとする。

『易経』繫辭上伝にある言葉で「易有太極 是生兩儀 兩儀生四象 四象生八卦 八卦定吉凶 吉凶生大業」(易に太極あり、これ兩儀を生じ、兩儀生四象を生じ、四象は八卦を生ず。八卦は吉凶を定め、吉凶は大業を生ず) 易の八卦の生成過程、ひいては天地万物の生成論を示すものである。

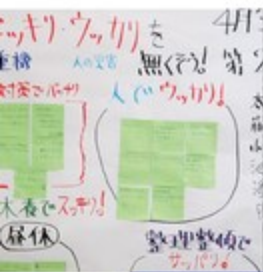
※ 太極(たいきよく)とは、『易』の生成論において陰陽思想と結合し宇宙の根源として重視された概念である。



■シンボルマーク
このシンボルマークは、「村山」のイニシャル文字の「M」と「山」の音の三要素であるMan(人)、Matter(物)、Money(金)を象徴化しています。また重なり合う三角の輪は無期に広がる企業活動をイメージし、村山土建グループ各社の「協働」による相乗効果を表しています。マークの配色は、明るく未来を感じさせる「さわやかな」「青々しい」「明るく」色を基本としています。青は天(空)、緑は地(大地)、赤は人(血脈)、黄は光(理想・未来)を表しています。

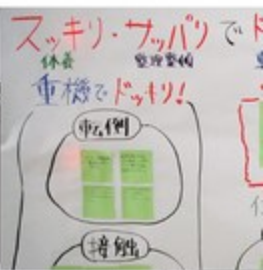
CONTENTS

- ◆ 自然とは天道なり 土木とは人道なり
- ◆ 巻頭言・社長所信 2
- ◆ 目次 4
- ◆ 教育とは流れる川の水に・・・ 6
- ◆ 《復刻》漫画 村山土建風雪45年史 8
- ◆ 特集 平成の村山土建「選択と集中」 43
 - 村山土建平成年表 44
 - 経営計画書の作成 46
 - 経営計画発表会 48
 - 拠点展開 50
 - 品質・安全管理、環境保全、コンプライアンス遵守 ... 52
 - 新分野開拓(プロジェクト) 54
- ◆ トピックス
 - 退職記念アルバム 58
 - 十日町雪まつり 60
 - 除雪 62
 - 大地の芸術祭 64
 - コマツ情報誌 66
 - 電気自動車 67
 - MURAYAMA ニュース 68
 - 掃除に学ぶ会 69
- ◆ 社員全員集合 70
- ◆ 社員ひとことメッセージ 72
- ◆ 経営理念 82
 - 経営基本方針/社是/社命/社訓/組織図
- ◆ 事業概要 84
 - 土木・森林事業/建築事業/モバイル事業
- ◆ 企業概要 86
 - 会社概要/拠点所在地
- ◆ 夜明けの明星の“うた” 支援者に生きる



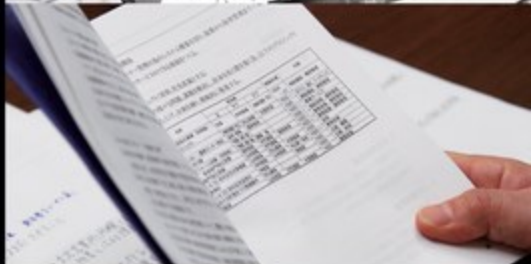
教育とは流れる川のみに
文字を書くが如く虚しいことである。
しかし、岩盤に文字を刻むが如く
やり続けなければならない。





どんなすばらしい教えでも、
相手が心を開かなければ伝わらない。
それは、伏せたコップの上から
水を注いでいるのと同じである。
まずコップを上に向けさせることが大切だ。

森 信三



復刻

漫画 村山土建風雪45年史

— 創業からの歴史を学ぶ —

村山土建創業45周年記念誌
感謝そして新たななる飛躍

村山土建 創業45周年記念誌
表紙デザイン

（あいさつ）

当社は昭和30年10月先代村山吉一氏が創業を遂げ、国土復興、郷土社会の一部が戦後の混乱期の中、復興するのを願って、創業しました。以来今日まで、この道一筋に専攻し、社会安未老死の闘いを、常に専攻の情熱と、努力してまいりました。

亦、経済の拡大と共に、顧客の急増と共に、新技術の導入を遂げて頂き、昭和57年10月には、増資増大に創業45周年を迎え、皆様方の御支援に対し、厚く御礼申し上げます。賑やかな秋から、来るべき21世紀を目指して、明るく、活潑に活動し続けて、創造する専門集団として、お役立ちして参ります。

今後、御指導、御愛顧の程、よりお願い申し上げます。

平成二十一年二月一日
代表取締役 村山 三三

先代社長
故・村山三三氏の
あいさつ文

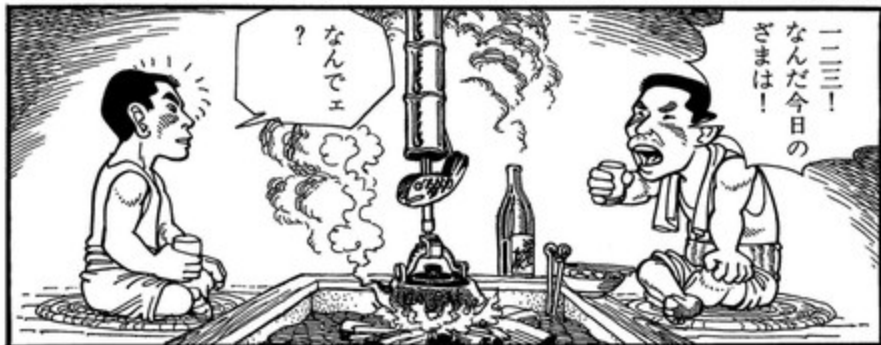




昭和二〇年
戦争が終つて
古里……

(新潟県十日町市
八箇村)にもどつ
てきた村山一二三氏
は二三才

父の仕事の
手伝いを始めた



一二三!
なんだ今日の
さまは!

なんで?



クチゴテ
しやアがん
!!

手ぎわが
なつてねんだ
!
さつぱり
仕事のハカが
いかねエ!

じゃアオヤジ
自分でせエば
いろ!
ほかに仕方が
あるアンなら
聞かせてほし
わや!!



親子仲の悪い
暗い家族と思
われるだろうが
そうではない

ようし今日も
いい天気だ!

オイツ
オヤジ今日は
まけねエぞ
!



齊木仁三郎氏通称ビキさん
昭和二〇年一月入社

アンサマ
ダンナに勝つ
にやもうちと
修業せんと
の!
ハハハハ



ようし
じゃ
いっちょ
とるか!

また
ワシに
ぶん投げ
られてン
か!?

土木建築の
ほかに農業も
やっており
家業柄屈強な
男達がよく寝
泊りしていた

終戦までもない
頃であり……

ガッブ



物が
豊富な現代
とは訳が違う
そんな中で
父政一郎氏は
職人達のめん
どうをよくみた

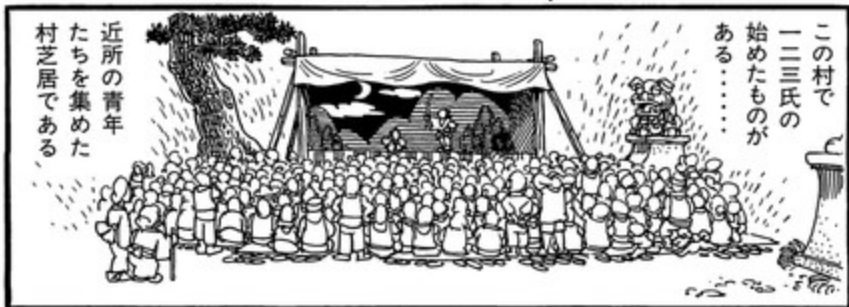


八箇村は
十日町から五キロ
ほど奥へ入った
ところにある
今では六日町とを
結ぶ国道二五三号
線になっているが
この頃はまだ
そんなものはない



この村で
一二三氏の
始めたものが
ある……

近所の青年
たちを集めた
村芝居である



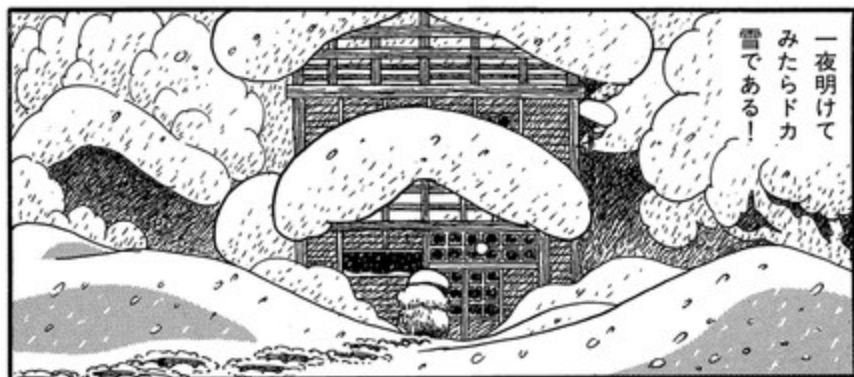












一夜明けて
みたらドカ
雪である！



堰堤に使う
石材まだ
町から運ん
でねんです
わ！

まさか
今日こんげ
積もるとは
思わねかつ
たなア



社長！
おごこと
しました
！！



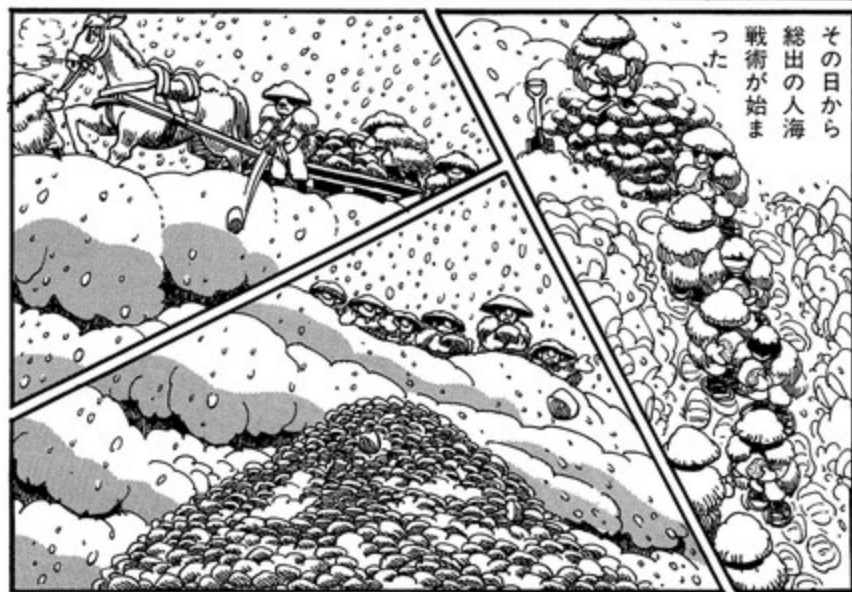
ヨーシ！
しょうがね！
コピキさん
たのむども
ありつたけの
人手集めて
くれ！

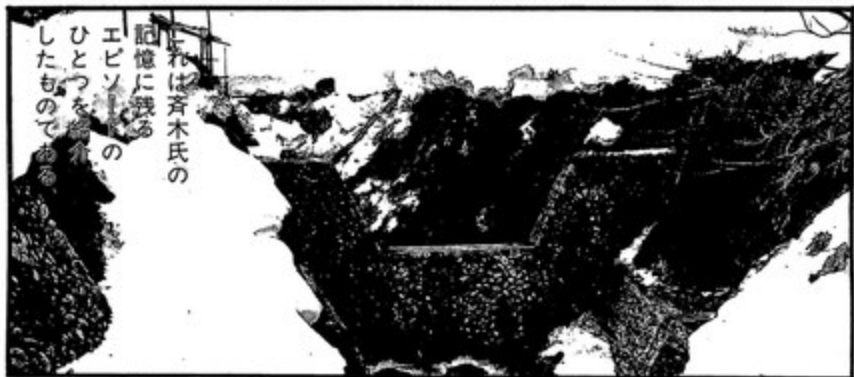


あつたりめエ
だ納期は
どんげこと
あつても守ら
ねばならねエ！

まさか
春まで待つ
てるワケに
もいかねエ
しなア

うーむ
よわつたなア







あーア!



社長 申し訳ありません
誘導がまずくて...
なアこれ
一台いくら
すると
思てんだ!



ケガは寝てれば
なおると
も.....

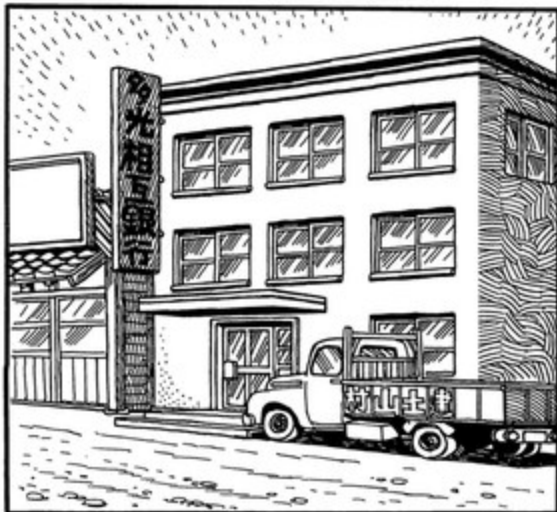


申し訳
ねエども
もう一台
心配して
もろんね
ろかね!

いやア
村山さん
それはちと
落してしま
ては下取り
もきかね
しねエ

この頃はまだ取引
銀行もない時分
で手形も切れな
かった!

農協との
取引きはあつた
が、そんな高額
融資は無理



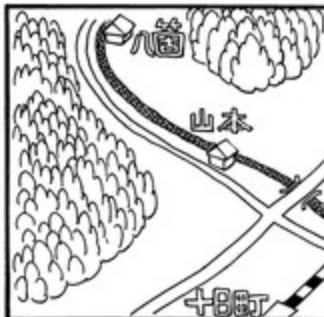


昭和三八年二月
村山土建
株式会社になる
資本金二五〇万円



昭和四〇年五月
いよいよ事業
発展のため
八箇の地から
十日町市内に
移転

当初は
山本三丁目
に社を
おいたが…



四二年
社屋の
山本七
に移る



昭和四一年四月
市議会議員
三期目を半ば
にして、父、村山
政一郎氏
急逝する



社長一三氏に
とっては勿論
父ではあるが
それ以上に
……

人生の師でも
あった



社長はよく
仕事柄花街で
飲むが

その豪放磊落
な遊行ぶりは
定評があり



先輩諸氏から
可愛いがられ
ている

こういう
ところはやはり
父ゆずりに
よるところが
大きいであらう！



そう
いえば
こんなこと
があった
………



六トントラックを
買うため
契約の手付金を
ハラマキにねじ
込んで、新潟へ
出かけていった
ことがある



ああ……
おほえて
ます

ありや
ケツサク
だった



話がまと
まって……
さア……

メーカーが
おごるつて
ことになった



ンま
飲む前に
一五万の手付
うてばいかつ
たんども……



酔って気分
がよくなっ

たんが悪
かった……

その足で
花街に
くり込んで

……



手付金
一晩で

みんな
使ってしまう
はっはは



次の日にあ
オヤジのカミナリ

覚悟で

オソルオソル
うちに帰った

……

ドナリつけら
れるもんだと
ばかり思って
たが……

「若けエときは
マアしようが
ねな」で
すんでしもた!



あんとき
ばっかは

オヤジの太っ腹と
いうかフトコロの
深いのにア……

負けた気がしたものだ



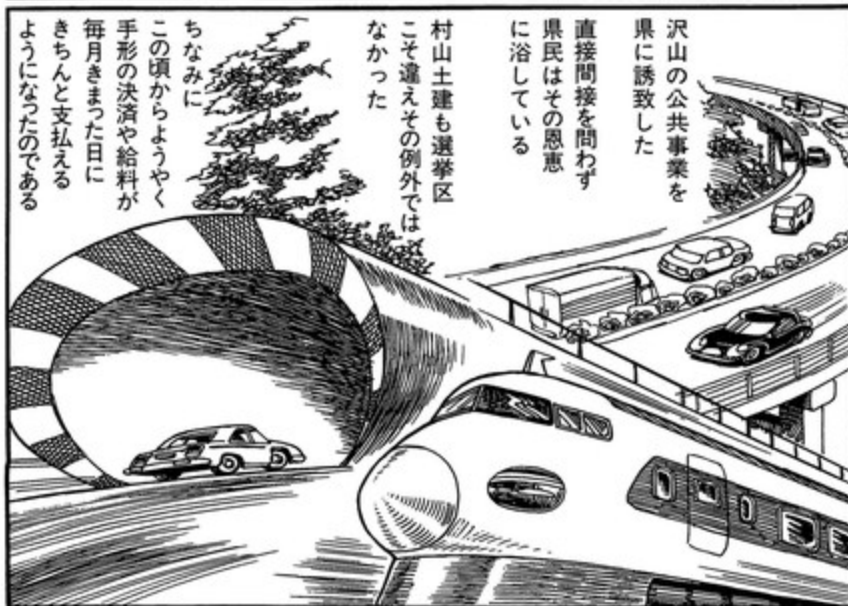
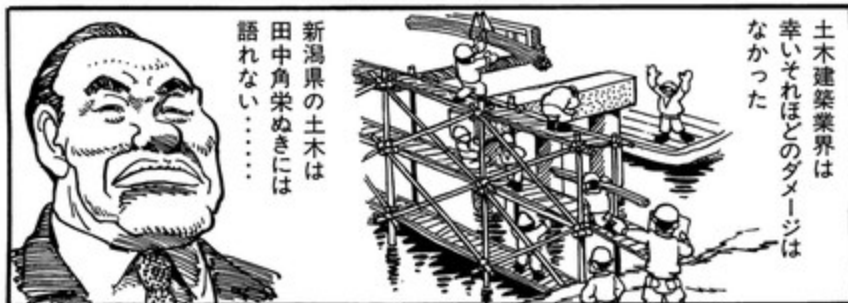
コビキさん
蟹は甲羅に
似せて穴を掘る
という……

まっオレは
オヤジほど
肝つ玉も太く
ねエし……
オレは俺の甲
羅に合う穴し
か掘れんだろう

社長
それに越した
ことはねエ
無理して
ろくなことは
ねエですよ

地味ながら
きちんとした
仕事をコツコツ
と積み重ね
ていった

そのおかげで
しだいに村山
土建も脚光を
あびるようにな
っていった



昭和五〇年
遠田光春氏
入社

遠田氏の入社を
きっかけに電話
ケーブル用の管を
埋設する工事も
手がけるように
なり……

新潟電話工業
の下請として
長野方面で長期
の仕事を続ける
ことができた



これは冬の期
の仕事になる
間を埋めるの
に役立つ

五〇年代に入ると
業務内容は格
段に飛躍した

土木中心に
電話ケーブルの
管工事……
ガソリンスタンド……



そして
昭和五三年四月
村山政文氏入社
をきっかけに
建築部門も
広がりをもみせ
はじめた

これは円通寺
舍利堂で
五六年の建築
県内唯一の
六角堂である





これは
東京の田部邸
で五九年……
鉄筋建築では
あるが柱がない
壁自体に
柱の強度を
もたせた
特殊な構造
となっている

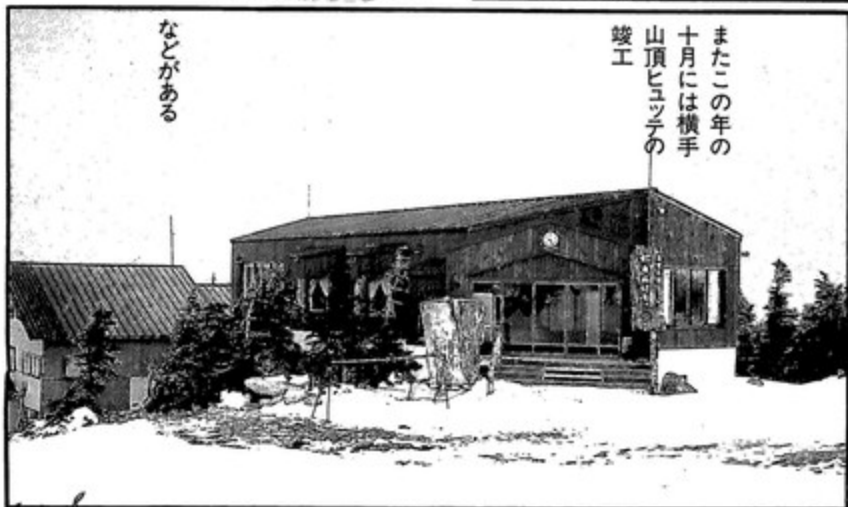


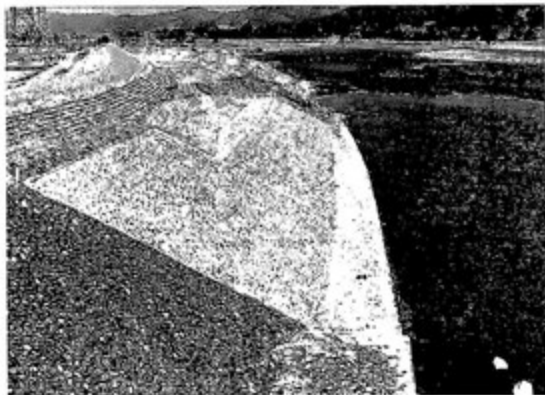
このことは
六一年二月
二日号の
週刊ポスト誌
に取り上げら
れ詳解されて
いる



またこの年の
十月には横手
山頂ヒュッテの
竣工

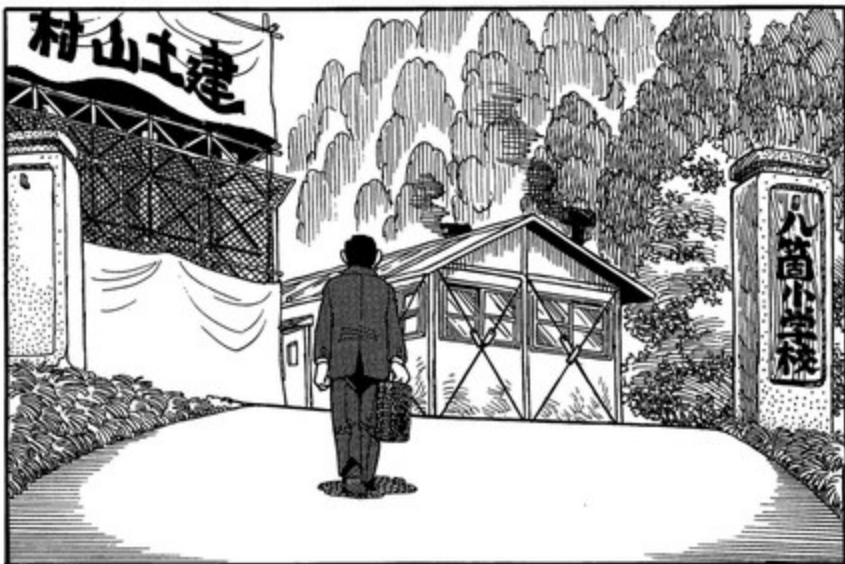
などがある





また
同年の上新井(下)
護岸災害復旧
工事は建設省
北陸地方建設局の
優良工事として
表彰されている

昭和六二年
一二月





オヤジの
政一郎が
昭和七年に
……

三二年には
オヤジとワタシで
体育館の
建てかえを
やらせていた
だった



ははア
そして今
また校舎の
建てかえを
村山さんに
やっていただ
いておるわけ
ですなア



なるほど
ただならぬ
因縁ですね

ワタシは
オヤジの苦勞
で上の学校
まで出させて
もらいました



社会に出て
からも

勉強するに
日曜日はない。

という気持は
今だに忘れて
おりません

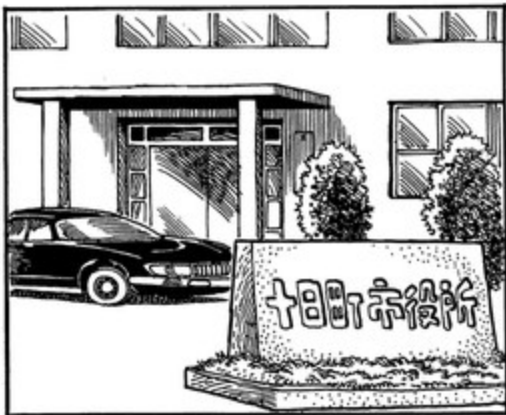
そうやって

この道ひと筋
にがんばって
きました

おかげで

今こうにか
こうにか会社と
してやっていける
までになったと
いう次第です





その後
昭和五九年
五月から
六三年四月
まで新潟県
建設業協会
十日町支部
長を務め：

建災防
十日町分会
副分会長を
十六年間：：
新潟県宅地
建物取引業
協会十日町支
部長を現在も
続けている



業界の要職も
歴任して
長いこと務め
てきたけれども
……………

平成二年
創業四五周
年を期に
若手に道を
ゆずりたいと
思う！



第一線は退いて
もやりたい事は
沢山あるし
まだまだ若い
者には負けて
いられない！

ワシは一生
現役である
！

そうです
社長
ワガ社の
独自の道を
行きましょう
！



平成二年三月
 村山政文氏
 代表取締役専務
 に就任する

これからの
 地域建設企業として
 オンリー・ワンをめざす
 政文氏の考える
 村山土建の未来
 構想を
 曼陀羅図に
 乗せて描いてみた



会社概要

社訓

1. 安全第一とし絶対に事故を起こさない事。
2. 自分の仕事に責任を持ち何事も筋を通す事。
3. 建設業も商人である事を忘れず、商品を大切にすること。

未来を築く若い力を

創業以来一貫した姿勢

豊かな自然を大切にみちをつくり、橋をつくり、家をつくり、まちをつくる。そして、豊かな明日を創りたい。そして郷土の発展と共に歩む企業誇りを使命としています。

企業は、ひとです

もう一つの我が社の使命は、新しい明日を担う若い力を育てることです。

- 大地にしっかりと根をおろした人間
- 郷土を愛し、国を愛する人間
- 明るく、卒園で力強い人間
- 常に研究を続け、創造する人間

ひとり、ひとりの個性を大切に

各種研修会、サークル活動、プロジェクトチーム編成、社員旅行を実施。潜在能力の開発と適性の伸長と個性を發揮できる仕事をあたえる。

会社概要

社名	株式会社 村山土建
所在地	新潟県十日町市大字山本71番地1 TEL:0257-526371 代 FAX:0257-506560
許可番号	新潟県知事許可特第6第8144号
許可の種類	特定建設業 土木工事業・建築工事業 とび土工事業・舗装工事業 造園工事業・管工事業
その他の営業	宅地建物取引業新潟県知事(4) 第2053号 一級建築士事務所 新潟県知事(4)第1254号 石油類給油所
役員	代表取締役社長 村山二三 代表取締役専務 村山 政文 常務取締役 村山 徹 取締役 村山 春雄 取締役 齊木仁三郎 取締役 遠田 光春 監査役 村山ミチ子
資本金	2,000万円
主要取引銀行	大光銀行十日町支店
加盟団体	新潟県建設業協会 新潟県宅地建物取引業協会 全国宅地建物取引業保証協会 新潟県建築士会
顧問	税理士 宮内 孝 弁護士 高木 悦男
関連企業	御沖建設

主な工事経歴 (昭和41年以降)

昭和41年8月	股部周黄住宅新築 一般国道	56年8月	中条円通寺経堂(六角堂)建築
10月	銀号小殿地内荒瀬橋架設	57年5月	本社屋新築
12月	田川筋砂防工事 津池地内	12月	中条保育園建築
42年12月	車庫及び店舗新築(旧社庫)	58年10月	新座ノ八郎線管沼橋架設
	山本71ノ市道長堤橋架設		一般国道11号四日町橋架設
43年7月	自家用給油所開設	12月	松乃壽司新築
44年9月	川治川筋滝ノ沢砂防工事	59年7月	東京田部町建築
	市道美佐橋橋架設	12月	週間ホスト誌掲載
45年12月	田川筋第10号砂防工事津池地内	8月	上新井(宇)護岸災害復旧
46年10月	住宅新築 村山二二三		優良工事表彰
47年8月	下条護岸災害復旧↓供養川工事第一回	12月	都市対策砂防
		60年5月	一般国道26号八箇大橋架設
10月	中野邸新築	6月	川治川滝ノ沢砂防工事
48年12月	川治川筋中ノ沢砂防工事	61年3月	飯山ノ班尾ケール埋設工事
49年6月	西田川橋新設工事	8月	長野ノ須坂ケール埋設
10月	田川橋架設工事		城ノ古護岸災害復旧(その一)工事(JV)
50年12月	十日町ノ六日町練水虎橋架設	9月	立体駐車場建設工事(JV)
52年12月	下条公民館新築	10月	新十日町大橋(JV)
53年5月	公共下水道工事 県内初の簡易土留工法使用	62年9月	横手山頂ヒュッテ食堂他建築
6月	市道浅ノ平橋架設	10月	株式会社社屋新築工事
10月	田川筋支流中ノ沢第一号都市対策砂防工事	12月	アーバンハイウエイ町建設工事
54年9月	川治川筋第23号砂防工事		田川筋深山沢砂防工事
5月	一般国道11号国道改良工事 飯山線高架工事(JV)	63年3月	上大田川筋都市対策砂防工事
12月	一般国道26号山本ノ関根交通安全歩道	11月	八箇小学校建築工事
55年7月	沖ハイデンス新築		田倉店舗増築工事
		平成元年3月	玉廻製麵所高田町工場建築
		10月	手沢根岡災害復旧工事

營業の沿革

昭和20年10月

創業 社名 村山土建
代表 村山政一郎 所在
十日町市大字八箇丁463番地
県知事登録口第51号

25年2月

村山一二三経営を継承(34才)
株式会社に改組

33年1月

資本金2500万円

38年2月

社屋移転十日町市山本3丁目
増資400万円

42年12月

旧社屋建築事務所移転
十日町市大字山本71(現在地)

43年7月

自家用給油所開設

46年4月

一般向給油所 村山石油とする

47年10月

増資 資本金6000万円

51年6月

特定建設業許可
特51第8144号

昭和53年8月

宅地建物取引業許可
県知事(1)第2063号

53年9月

増資 資本金1,000万円

55年3月

一級建築士事務所開設
(1)2054号

56年3月

長野作業所開設 所在長野県
篠ノ井市(現在は須坂市)

57年5月

海沖建設設立

57年10月

新社屋完成

61年5月

大宮作業所開設 所在埼玉県
大宮市

61年9月

増資 資本金2,000万円

平成2年3月

村山政文代表取締役専務就任
組織変更

ポートレート

昭和20年10月

村山政文

昭和25年2月

村山一二三

昭和33年1月

村山政文

昭和38年2月

村山政文

昭和33年1月

村山政文

昭和38年2月

村山政文

昭和43年7月

村山政文

昭和46年4月

村山政文

昭和47年10月

村山政文

昭和51年6月

村山政文

昭和53年8月

村山政文

昭和53年9月

村山政文

昭和55年3月

村山政文

昭和56年3月

村山政文

昭和57年5月

村山政文

昭和57年10月

村山政文

昭和61年5月

村山政文

昭和61年9月

村山政文

昭和61年10月

村山政文

昭和61年12月

村山政文

昭和61年12月

村山政文

昭和61年12月

村山政文

昭和61年12月

村山政文

昭和61年12月

村山政文

昭和61年12月

村山政文

昭和61年12月

村山政文

昭和61年12月

村山政文

昭和61年12月

村山政文



村山土建創業45周年記念誌
感謝そして新たな飛躍

発行一九九〇年(平成二年)十一月一日
株式会社 村山土建

新潟県十日町市大字山本七一番地一

電話 0257・52・3721(代)

FAX 0257・52・5670

編集委員/村山政文

企画・制作/徳律デザイン



平成の村山土建 選択と集中

特集



この重点項目を推進することにより、
経営情報をオープンにし全社員による全員経営を目指し、
事業を通して地域社会の発展を支え、
顧客満足度を向上させることでした。

重点項目の実践、これこそが「顧客創造」への道なのです。

平成6年、村山政文が社長に就任して、
まず着手したことは、

- ① 経営計画書の作成と経営計画発表会の開催、
- ② 拠点展開、
- ③ 品質・安全管理、環境保全、コンプライアンス遵守、
- ④ 新分野開拓（プロジェクト）です。

社外巻

第 33 期 経営計画書

日 平成6年1月1日
迄 平成6年12月31日

株式会社 村山土建
有限会社 沖建設



村山士建

平成年表

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	平成
2002	2001	2000	1999	1998	1997	1996	1995	1994	1993	1992	1991	1990	1989	西暦
<p>世の中の出来事(緑の太字は新潟県の出来事)</p> <p>皇太子が新天皇に即位、元号を「平成」と改元(緑)</p> <p>消費税(3%)開始</p> <p>ベルリンの壁崩壊</p> <p>札幌・紀子様ご成婚</p> <p>東西ドイツ統一</p> <p>バブル崩壊</p> <p>ソ連邦解体</p> <p>湾岸戦争勃発</p> <p>雲仙普賢岳噴火</p> <p>WOWW、衛星放送を開始</p> <p>東北、上越新幹線、東京駅乗り入れ開始</p> <p>パルセロ十五編</p> <p>東海北陸新幹線、のぞみ運転開始</p> <p>国際平和維持活動(PKO)協力法成立</p> <p>皇太子と雅子様ご成婚</p> <p>自民党55年体制崩壊、細川連立内閣成立</p> <p>サアカー1リーグ開始</p> <p>四国国際空港計画</p> <p>大江橋三郎ノベル文学賞</p> <p>白・村山あさかげの村山内閣誕生</p> <p>松本サリン事件</p> <p>阪神淡路大震災</p> <p>地下鉄サリン事件</p> <p>アトランタ五輪</p> <p>小選挙区比例代表並立制で初の選挙</p> <p>拓野・山一倒産</p> <p>消費税(5%)</p> <p>東京湾アクアライン開通</p> <p>長野冬季オリンピック</p> <p>明石海峡大橋開通</p> <p>NTT分割</p> <p>東海村臨界事故</p> <p>乗輸入自由化、関税化</p> <p>シドニー五輪</p> <p>白岡美樹ノベル化学賞</p> <p>「みずほ」誕生(1勤、富士・日興)</p> <p>中央省庁再編(1府は省庁)</p> <p>米国同時多発テロ事件</p> <p>野依真治ノベル化学賞</p> <p>「三井住友」誕生(住友・さくら)</p> <p>新潟スタジアム(ビッグスワン)完成</p> <p>サッカーW杯日程共催(ビッグスワンで準準リーグ)</p> <p>小柴昌俊ノベル物理学賞</p> <p>田中耕一ノベル化学賞</p>														

★村山士建の歩み

★建設大臣許可認可 大臣許可(特13)第14347号

★大宮営業所を現任所に新築

★村山政文、代表取締役社長就任

★経営計画書作成(写真①)と経営計画発表会の開催(写真②)

★創業50周年

★資本金を3,000万円に増資

★ISO認証取得 JIS Z 9901・1998
(ISO9001・1994)MSA1QS1728(写真③)



25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003
アルシリア人買付事件 安価買付が経済政策の本の矢、表明(アベノミクス)	日本の全原子力発電所稼働停止 ロンドン五輪 東京スカイツリー開業 衆議院議員総選挙、自民党大勝 安部晋三内閣総辞職 安倍晋三内閣発足	東日本大震災 九州新幹線鹿児島ルート全線開業 新潟・福島豪雨	菅直人内閣発足 参議院選挙で民主党政権 東北新幹線全線開業 尖閣諸島中国艦艇衝突事件	衆議院選挙で民主党政権 鳩山由紀夫内閣発足 日本文理高校、夏の甲子園で準優勝 第64回国民体育大会(下半期)新潟県体(開催)	新潟市が政府指定都市に移行 南部陽一郎・小林誠、超光速中性子実験がノーベル化学賞 第1回トキ放鳥	参議院選挙で民主党政権 新潟県中越沖地震 新潟市が政府指定都市に移行 南部陽一郎・小林誠、超光速中性子実験がノーベル物理学賞 第1回トキ放鳥	改正教育基本法成立 秋篠宮家長男・悠仁親王誕生 郵政民営化関連法成立 新潟市に周辺13市町村が編入合併	愛知万博開催 郵政民営化関連法成立 新潟市に周辺13市町村が編入合併	新潟県中越沖地震 7・13水害 アルビレックス新潟J1昇格	相模大橋・新潟みなとトンネル同時開通 澤穂菜さん、曽根ひとみさんら拉致被害者5人帰国 イラク戦争 米費メッセがオープン

<ul style="list-style-type: none"> ★小千代市に中越営業所開設(写真直) ★新潟市に中越営業所開設(写真直) ★新潟市に新湖営業所開設(写真直) ★創業50周年 ★森林環境課新設(写真直) ★法人化完了 ★電気通信業務許可 ★新潟市20周年 ★小千代市に中越営業所開設(写真直) ★本社事務所増改築完成 ★スズンド20周年(自來水) ★大宮営業所統括部門大和田駅前MDビル増改築移転(写真直) ★中越営業所移転(長岡市) ★新潟営業所移転(東中越)取得 ★ISO認証取得 J1S-Q14001・2004 (ISO14001・2004)MSA1S1782 認証範囲・土木構造物及び建築物の設計、施工及び測量 ★スタンド改修 ★大宮営業所 7地域建物取引業務許可 大臣登録に変更 ★十日町雪まつり雪の芸術祭参加 ★本社社力会一斉会 解散 ★安全品質技術協議会本部発足 ★創業50周年(一軒一許可) ★本社 電気工事業(一軒一許可) ★法人化50期 ★十日町雪まつり雪の芸術祭(十日町白ゲリー賞)受賞 ★安全品質技術協議会大宮支部発足 ★東海地区作業所開設 ★大宮 電気工事業(一軒一許可) ★神建設初期 ★地域支援事業室設置 ★電気通信事業室設置 ★十日町雪まつり雪の芸術祭(十日町農業協同組合長賞)受賞 ★農業部門参入(写真直) ★株式会社TECMURAYAMA設立 ★ISO統合ミーナル改訂 ★ISO(品質)第4回再認証審査生体拡大 市 拡大(環境) 村山石橋、新潟営業所、中越営業所、不動産事務所 ★十日町雪まつり雪の芸術祭(三因アワード)受賞(写真直) ★電気自動車導入(写真直) ★会社法人化50周年(一有)神建設設立30周年記念式典 	
---	--



経営計画書の作成

「社長の最大最重要の仕事は経営計画書を自らの手で書き上げることであり、社長の仕事のすべてが経営計画書の作成である」といったのは経営コンサルタントの故・一倉定氏です。氏は日本で最初に経営計画書の体系を創り上げた方であり、つぎのようにも明言しています。

「社長の一番大切な仕事は経営計画をつくること、二番目が経営計画を関係者と共有すること、三番目が経営計画を達成すること」と。

経営計画書は社長の決意表明です。計画通りいかないからといって、経営計画書は無駄だという話にはならないのです。目標と実績の差は、私たちに世の中の趨勢を知らせ、問題解決の手掛かりとなります。

株式会社 村山建設
有限会社 沖建設
株式会社 TEC MURAYAMA
第52期 経営計画書
MANAGEMENT PLAN FOCUSTEBOOK
平成25年1月1日
平成25年12月31日



第48期 経営計画書



第43期 経営計画書



第38期 経営計画書



第33期 経営計画書



第49期 経営計画書



第44期 経営計画書



第39期 経営計画書



第34期 経営計画書



第50期 経営計画書



第45期 経営計画書



第40期 経営計画書



第35期 経営計画書



第51期 経営計画書



第46期 経営計画書



第41期 経営計画書



第36期 経営計画書



第52期 経営計画書



第47期 経営計画書



第42期 経営計画書



第37期 経営計画書

経営計画 発表会



村山土建では経営計画書発行にあわせて、経営計画発表会を開催します。経営計画発表会を行うことで社員全員の理解を深め、経営への参加意欲を高めます。

一年間或いは中長期の会社が進むべき方向性を確認し、全社一丸となって、目標達成に邁進できるよう意識づけを行います。

社員は経営計画発表会に参加することで、計画全体の内容を理解し自分が属する部門が、或いは自分が、計画の中でどんな役割と責任を負っているかを確認することができます。また、お取引先や金融機関等にも発表会に参加して頂き、村山土建の経営計画をご理解いただけるよう努めています。

村山土建の経営計画発表会は、入社式、辞令交付、表彰等も行う大切な社内行事となっています。

終了後は、社員手作りの懇親会を開きます。普段接しない社員間の交流の場ともなります。





成
一十五年度 第五上期
村山土建 南神建設入式並び経営者懇話会
夜間及びタイムスケジュール
記念撮影
開会
入社式
授章交付
表彰
懇話会
懇話会 (二合村山土建) 開催
十二月二十日
十二月二十日



村山土建
経営者
を想い
絶定外で
小さな油

司会 阿部土木工務課長
開会挨拶 村山社長
来賓挨拶 大光銀行十日町支店支店長 阿部大
乾杯 金井常務
天神囃子 西野課長



株式会社 村山土建
式次第
懇親会
十七時二十分



拠点展開

大宮営業所をはじめとして、新潟営業所、中越営業所開設と拠点展開を行ってきました。地域に密着して情報を集め、ニーズを的確に捉え売り上げ拡大を図ると言うものです。特に大宮営業所は移動体通信、モバイル通信時代の到来を的確に捉え、基地局折衝業務からコンサル、設計業務、施工、付帯試験までの通信業務一貫で作業を実施し実績を重ね、当社の業績に大きく貢献いたしました。

今後、より一層本社と各営業所の情報交換を密にし、優良物件を収集し受注に結び付け、買換等による工事受注を積極的に行っていく予定です。

また近年は、モバイル事業の急速な変転により、事業内容や規模が大きく変わり、先行きも不透明です。しかし、激動の時代にこそ、スピードと柔軟な対応が必要です。平成24年6月に株式会社TECMURAYAMAを「地元企業」として大宮に立ち上げました。大宮営業所と協力して、埼玉県下を中心に土木工事受注を積極的に目指します。



Murayama doken Construction example

《 施工事例 》



Murayama doken Network

《 拠点ネットワーク 》



中越営業所



新潟営業所



本社



大宮営業所

大宮営業所

品質・安全管理、 環境保全、 コンプライアンス遵守



村山社長では以前から当社と協力企業が連携して、品質・安全管理に努めてきましたが、ISOを導入し運用管理することで社員（技術）の向上を図りたいと、2000年にISO9001（品質）を取得しました。

その後、2009年にはISO14001（環境）を取得し、それぞれ運用管理してきましたが、内容に類似した点が多く、「ムダを省き、分かりやすく、コンパクトにして効率の良い運用管理をしたい」との思いから、2012年にISO9001をベースにした統合マネジメントシステムを導入しました。

これにより、品質・環境管理が一体となり、文書類が半減し、コンパクトで分かりやすいマニュアルとなりました。また、内部監査も同時に実施できることになり、監査時間の削減が図られ、規格適用コストの削減も図られました。あわせて、安全品質技術協議会を組織し、協力会社を含め、安全大会・安全パトロール、講習会・研修会を開催し、安全の確保と品質・技術の向上に努めています。

また、現場の着手前安全教育、月毎の安全教育・全社安全パトロール・社内検査等も行っています。

これからもISOシステムと安全品質技術協議会の継続により、社員（技術）の向上を図り、お客様から喜んでいただける、品質に優れた製品作りに努めてまいります。





新分野開拓(プロジェクト)

新分野開拓のさきがけは、大宮営業所開設と同時に立ち上げたモバイル事業です。基地局折衝業務からコンサル・設計業務、施工、付帯試験までの通信業務一貫で作業を実施し、関東甲信ならびに神奈川、静岡の一部九県に及ぶ範囲で業務を行い、2万件以上の実績を有しています。加えて、独自の施工方法「M・D式足場」を開発し特許を取得しました。

平成18年には森林環境課を新事業として立ち上げました。もともと自社で管理していた広大な山林を専門に担当する部署が必要になったこと、森林組合を退職した経験豊富な人材の受け入れ、さらに環境保護に取り組み意識が重なり立ち上げに至りました。林業は投資から回収までに非常に長期間を要する産業のため、経営を成り立たせていくには厳しいところもあります。しかしながら、地域の森林はCO₂の削減、水害の防止に大きな役割を果たしています。公益的機能の発揮や再生可能な資材としての木材、エネルギー源としての木材など、林業は循環型社会の形成に役立つことなどから今後益々重要になってきます。

森林事業は、「米づくり」へと進んでいきます。林業に限らず、地域の農業も衰えが見え、休耕地、耕作放棄地が目立つようになりました。反面、都市部では「安心・安全な米」がほしいというニーズがあります。米づくりプロジェクトは着々と進行中です。

また、村山土建では新たに、これまで培ってきた土木・建築事業、モバイル事業、森林・農業事業、不動産管理運営事業等を融合した商品・サービス開発プロジェクトを進めています。

中心市街地活性化事業への参画(サ高住フラインプロジェクト)、不在地主物件の維持管理サービス(ふるさと留守番隊)プロジェクト、森林オーナー向け維持管理システム構築プロジェクト、農業支援サービスを研究する「地域支援事業室」等々、活動を開始しました。

「求められること(地域社会が抱える問題・課題)」、「できること(会社の持つ技術・人材・実力)」、「やりたいこと(会社の理念・方針・方向性)」の「三つのこと」が変わるところに新分野開拓(プロジェクト)の領域があるのです。

サ高住はサードパーティ付高齢者向け住宅の供給、60歳以上の元来高齢者(介護度の低い方)が入居し、ヘルパーや看護士が常駐して毎日の安否確認や健康相談、食事等のサービスを提供します。

求められていること ▼ (地域社会が抱える問題・課題)

- 過疎化
- 少子高齢化
- 中心市街地空洞化
- 休耕田
- 耕作放棄地

できること ▼ (会社の持つ技術・人材・実力)

- 土木・建築事業
- モバイル事業
- 森林・農業事業
- 不動産管理運営事業

やりたいこと ▼ (会社の理念・方針・方向性)

- 喜働自献
- 和敬興福
- 成徳達村
- 人々の夢を確かな形にする
- エンジニアリング&サービス
- 省資源・安全な仕事をする
- トータルで仕事をする



中心市街地活性化事業



CASE 4

村山土建の プロジェクト

ふるさと留守番隊



CASE 3

森林事業



CASE 1

モバイル事業



CASE 5

米づくり事業



CASE 2

退職記念アルバムづくりが 掲載されました

長年、会社に貢献した社員のために退職記念アルバムを制作し、退職者の仕事への誇りや熱い思いを後輩社員に伝え残したいという思いから企画されました。また、退職者の歴史の積み重ねが会社の歴史でもあります。

後輩社員はアルバム編集委員会メンバーを経験することにより、先輩社員を取材することと、会社の歩みや部門部署の歴史を知ることができます。それは村山土建の企業マイナードを継承していくことです。





◆ 退職記念アルバム

「私は高度成長期を会社で過ごし、
 たから、会社とともに自分の人生があっ
 たと言えます。ただ、家に帰ってから仕
 事のこととはほとんど口にしませんでした。
 そうすると、妻、子、孫に私が何に打ち
 込んだか伝えるものはゼロに等しいの
 です。このアルバムを作ってもらい、家内
 もこれまで知らなかった私の一面を知り
 感激していました。写真と文字の力は大き
 いと実感しています。たとえ私がいなく
 なったとしても、会社が五〇年、一〇〇
 年と続いていけば、会社とともに自分の
 人生が次へとつながっていく、そういうメッ
 セージがアルバムには込められていると思
 います」

逸田光春



十日町雪まつり

「雪の芸術展」

3年連続
入賞!!

村山土建では、創業65周年を記念して2010年より、雪の芸術展に参加しています。ふるさと十日町に感謝の気持ちを含め、日頃仕事で鍛えた技と社員力を結集して作品を仕上げています。出来上がった雪像が、国道253号を通じて十日町にいらっしゃるみなさんをお迎えしています。





第64回十日町雪まつり 雪の芸術展(芸術部門)
 三国コカ・コーラボトリング賞



第63回十日町雪まつり
 雪の芸術展(芸術部門)
 十日町農業協同組合会長賞



24時間。

除雪オペレーター

は眠らない！



ゴウオゴウオ
ゴウオゴウオ



ゴウオゴウオ
ゴウオゴウオ

株式会社 村山土建
平成24年度除雪延長 (単位: km)

車道除雪	国道	15.1
	県道	6.0
	市道	0.8
計		21.9

歩道除雪	国道	3.5
	県道	0.0
	市道	0.0
計		3.5



豪雪地帯の十日町

ふるさとの生活を支える

縁の下の力持ち

それが除雪オペレーターです



11
2
Snow
removal
operator



山中庵「スバイラル・ワーク」 戸島千世子

村山土建は大地の芸術祭 アート作品施工のお手伝いをしています

大地の芸術祭とは

「大地の芸術祭」は、越後妻有地域の里山を舞台に3年に1度開催される世界最大規模の国際芸術祭です。地域に内在するさまざまな価値をアートを媒介として掘り起こし、その魅力を高め、世界に発信し、地域再生の道筋を築いていくことを目指す「大地の芸術祭の里」の活動成果の3年ごとの発表の場として位置づけられています。

2000年のスタート以来、2003年、2006年、2009年、2012年の5回が開催され、2015年の第6回に向けた準備が進められています。

(大地の芸術祭の里公式サイトより)



〔Rolling Cylinder, 2012〕 カールステン・ヘラー（ベルギー／スウェーデン）
スポンサー：株式会社村山土建



ハイブリッド油圧ショベルをいち早く導入

「マツの情報誌『大地』(2011 Vol.112)の取材を受けた

Project
特別企画
TOP INTERVIEW



ヤマダ 隆尚氏

「感謝の気持ちと」「決心」実現の機軸
地域貢献で「なくてはならない会社」に

DAICHI INFORMATION



DAICHI INDEX

Project 1
村山土建は、ハイブリッド油圧ショベルをいち早く導入
環境に配慮した事業に

Project 2
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 3
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 4
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 5
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 6
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 7
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 8
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 9
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 10
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 11
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 12
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 13
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 14
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 15
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 16
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 17
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 18
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 19
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に

Project 20
環境に配慮した事業に
環境に配慮した事業に



「マツの情報誌『大地』(2011 Vol.112)の取材を受けた

Project



「マツの情報誌『大地』(2011 Vol.112)の取材を受けた

「マツの情報誌『大地』(2011 Vol.112)の取材を受けた



「マツの情報誌『大地』(2011 Vol.112)の取材を受けた

村山土建は、ハイブリッド油圧ショベル導入以前の2009年にISO14001(環境)を取得しました。これは、品質(ISO9001)はもちろんのこと、環境保全に重点を置くという会社の大きな方向性を全社員に示すものでした。

水質や騒音、振動などに対する行政、顧客、地域住民の要求に答えていくことが我々の使命です。

「森林を守ることは地域を守ること」という思いから新設された「森林環境課」。里山の荒廃を防ぐことは、CO2の削減、水害の防止につながる地域の安全・安心に貢献する大切な仕事です。

森林に留まらず、「環境」をキーワードとした分野は、大きな事業領域の可能性を持っています。



電気自動車導入

電気だけで走るので、走行中のCO₂や大気汚染物質の排出はゼロ
新潟県及び十日町市からの補助金により電気自動車導入(2013年5月)

静かで、
クリーン
エコドライブ。



環境・明る



おかげ様で115号

平成12年(2000)11月に「NEWS ISO」として第1号を発行、第85号より「MURAYAMA ニュース」に改称、内容もISO関連情報はもちろん、社員紹介、新入社員紹介、現場訪問、営業所情報、結婚、出産等々もりだくさんです。おかげ様で平成25年(2013)7月に第115号を発行することができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。これからも充実した紙面づくりに努力いたしますので、よろしくお願いいたします。



掃除に学ぶ会

掃除を通して、人々の「心の寛み」と「世の中の寛み」をなくすことを目指すという、特定非営利活動法人「日本を美しくする会」の理念に共感して村山土建では「十日町掃除に学ぶ会」を立ち上げました。社会貢献活動の「環」として、十日町市内の学校で「掃除に学ぶ会」を開催するだけでなく、新潟県内、全国各地の学校等で開かれる「掃除に学ぶ会」に積極的に参加しています。

人の心を落ち着かせて

穏やかにするには

環境をきれいにするのが

最も効果的であるということ

私は体験から実感しています

榎山孝三郎





村山土建法人化五十周年記念
社員ひとことメッセージ

入社して四年あまりの間に過ぎました。想定外な事々を感ずります。

建築課 高橋 哲也氏

五十年のめでとうございませう。夫人の力を敬重に!!

営業課 村山 早斗

法人化五十周年おめでたいとくびです。在来と変遷を思ひます。

総務経理課 村山 光生

若手教育にこれから更頑張ります。50周年おめでとうございませう。

本林 環境課 齋木 吉一

五十周年おめでとうございませう。色々の方々の御恩に感ずります。

ありがとうございませう。

工務主任 榎田 誠一

五十周年おめでとうございませう。

法人化五十周年おめでとうございませう。村山土建 万歳!!

建築課 樋口 尚男

会社と共に歩んだ三十二年

常務取締役 金子 道彦

会社への感謝の気持ちでいっぱいです。

取締役 兼 総務課 村山 文信

50年、めでたいです。100年にならうと努力をしています。是非100年を!

安部 部長 仲 敏夫

叔母さまとりまして、これからもがんばります。

本林 部長 西野 友

50年、先輩方の努力が支えてこられたと感じます。これからも頑張ります。

土木課長 阿部 浩之

仁義・礼・智・忠・信 孝・悌 孝・悌

建築課 西野 善一

七十一年の月日は、日々々々々々々々

建築課 尾野 隆

五十周年 おめでとうございませう。

菅 文彦 菅 福志

法人化五十周年おめでとうございませう。

土木課 菅 福志

永い間勤めさせていたおかげでありがとうございます。

総務経理課 高野 聖子

人生の半分以上会社にいます。初心を忘れません。

総務経理課 上村 悦子

五十周年 おめでとうございませう。

土木工務課 若尾 義成

50年の若う一以上、会社と共に歩んできました。

ありがとう。土木工務課 渡部 祐

会長をはじめ先人の方の努力に日々感謝です。

営業課 村山 成子



【之辭】
 豪雨災害の復旧復興対応にあたり、
 力を掲げ、全社一丸となって、
 合わせ、心を合わせ、力を合
 せ、村山土建の真価を發揮し、
 貴社の安心・安全の確保の為に、
 努力させていただきます。

平成24年 1月
 村山土建 代表取締役社長 村山



50周年おめでとうございませう。

総務課 村山秀彦

50周年おめでとうございませう。
歴史の中心に立ちまわります。

経営課 滝永武志

ゆめでとつございませう
榎木 春二

50周年おめでとうございませう。

土木工務課 岡田宣尚

いつもありがとうございます。

土木工務課 志賀裕子

法人化50周年おめでとうございませう。

これからお株の時代に誇れる仕事を、土木工務課 村山隆

長い歴史に感謝。ありがとうございます。
建築課 村山 友明

50周年おめでとうございませう。

これからもがんばっていきます。

土木工務課 太田 徹

全ての関係者の皆様へ感謝申し上げます。

建築課 西沢 裕幸

法人化50周年おめでとうございませう。

土木工務課 渡形 亮介

50周年おめでとうございませう。

土木工務課 中野 浩太郎

50周年おめでとうございませう。これからもがんばります。

建築課 関 隆

これから歴史の一人でありたい。

不動産課 務理 波形 雅昭

50周年おめでとうございませう。これからも安全第一

土木工務課 村山 春二

50周年おめでとうございませう。

森林環境課 尾山 登幸

法人化50周年おめでとうございませう。毎朝働けることに感謝します。

安全品質課 岡田 美由紀

会社を築いてきた先輩達に感謝です。おめでとうございませう。

建築課 岩田 正成

50周年おめでとうございませう。

土木工務課 久保田 泰平

これからも安全第一で頑張ります。

50周年おめでとうございませう。お世話になった方々に感謝致します。土木工務課 高橋 美穂

50周年おめでとうございませう。

これから安全第一をがんばります。建築課 渡形 亮介

人生色々働ける日に感謝。ありがとうございます。
建築課 尾身 博司

法人化50周年おめでとうございませう。

営業課 池田 昭寛

人との出会い、仕事との出会いの日々感謝です。

建築課 前野 知子

50周年元の村山工業へ。

土木工務課 白井 義典

善哉の無い現場作りを。

土木工務課 菊 永明

50周年という節目日にはみんなを任せて感謝いたします。

土木工務課 村山 勝賢

50周年おめでとうございませう。これからも無事故です。

森林環境課 山田 裕樹

50周年おめでとうございませう。

土木工務課 藤原 孝夫

五十周年おめでとうございます。これから五十周年の成長を祈ります。

モバイル信越 池田茂

更に50年、益々の発展を、お祈り致します。

モバイル信越 小川裕子

50周年おめでとうございます。50周年、お周年になるように

奮闘努力邁進いたします。上林 尾身哲也

50周年おめでとうございます。これから50周年の成長を祈ります。

モバイル信越 上林 尾身哲也

50周年 策まあげてきて、皆様に見舞

モバイル信越 尾身 慶彰

50周年 おめでとつございませう。ありがとうございます。

上林 尾身 池田 健

50周年おめでとつございませう。

上林 尾身 尾野 雅樹

縁を大切に

上林 尾身 尾野 雅樹

50周年おめでとうございます。ごさいます。

上林 尾身 尾野 雅樹

念ねと士に30周年おめでとうございます。

上林 尾身 尾野 雅樹

バンザイ 50周年

仲間を大切に。笑顔でいよう。

50周年おめでとうございます。水落清司

法人化50周年 おめでとつございませう。

上林 尾身 尾野 雅樹

入社8年目。良き人間関係の会社に巡り合えて、
建築課 池田 拍成

五十周年へよりお祝ひ申し上げます。 香取 隆

五十周年おめでとつございませう。 水落 清司

50周年おめでとつございませう。後がますます良くなることを祈ります。

水落 清司

おめでとつございませう。今後ますますよくおのりなすことを祈ります。

水落 清司

五十周年おめでとつございませう。人よりお祝ひ申し上げます。

上林 尾身 尾野 雅樹

おのりなすことを祈ります。 上林 尾身 尾野 雅樹

モバイル信越 尾野 雅樹

法人化五十周年 おめでとつございませう。

モバイル信越 高橋 裕子

おめでとつございませう。今後とも益々しくお願ひします。

法人化五十周年おめでとつございませう。 不知庵 栗原 高子

モバイル信越 尾野 和美

50周年おめでとつございませう。これから益々成長を祈ります。

水落 清司

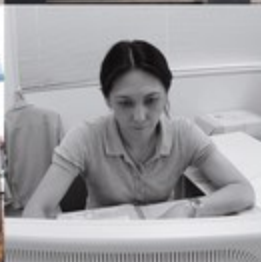
50周年おめでとつございませう。 水落 清司

水落 清司

五十周年おめでとつございませう。 水落 清司

水落 清司

今、この会社にいる事を幸せに感じます。 水落 清司



祝祝周年。更なる50年に向け、変革・継続努力

大宮営業所 業務部長 野村山美則
今年の50年、これからの50年を、当然と受けるのは皆の自覚次第

祝五十周年 若人の未来に力となる各社をめぐり、

祝五十周年 知恵・努力・行動力・更なる継続を
大宮営業所 企画管理課 志村美穂

祝五十周年 知恵・努力・行動力・更なる継続を
大宮営業所 建設設計課 坂川弘

祝五十周年 知恵・努力・行動力・更なる発展を
大宮営業所 技術課 小宮正行

祝五十周年 知恵・努力・行動力・更なる発展を
大宮営業所 設備管理課 木取雅之

祝五十周年 知恵・努力・行動力・更なる発展を
大宮営業所 モバイル課 高橋秀文

祝五十周年 知恵・努力・行動力・更なる発展を
大宮営業所 技術課 工方純之

祝五十周年 知恵・努力・行動力・更なる発展を
大宮営業所 安全管理課 水永了磨

祝五十周年 知恵・努力・行動力・更なる発展を
大宮営業所 総務課 江ノ志子

祝五十周年 知恵・努力・行動力・更なる発展を
大宮営業所 総務課 志岡晴貴

祝五十周年 知恵・努力・行動力・更なる発展を
大宮営業所 総務課 高橋祐一

祝五十周年 知恵・努力・行動力・更なる発展を
大宮営業所 総務課 岩野俊彦

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 モバイル大宮 沖田直一

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 モバイル大宮 廣瀬康仁

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 モバイル大宮 寺澤剛

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 モバイル大宮 清水大樹

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 モバイル大宮 野村勝成

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 モバイル大宮 小宮正行

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 モバイル大宮 木取雅之

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 モバイル大宮 高橋秀文

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 技術課 工方純之

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 安全管理課 水永了磨

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 総務課 江ノ志子

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 総務課 志岡晴貴

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 総務課 高橋祐一

祝五十周年 これからの五十年に向けて更なる発展を
大宮営業所 総務課 岩野俊彦



初五十四年 創設 五尺五寸五万人 人給り 会社人

東海作業者 西川裕久

このころも続く 険しい道のり、知恵を出し合い 変えていこう。

東海作業者 西川裕久

五十周年 おめでとうございませう (定年退職者 定年)

六十周年 七十周年 定年めがけておこぼりませう

祝賀周年 半世紀の歴史に満足する事なく、未来に繁栄

の為に日々一生懸命で

大宮啓美所 同所 同所

初心を忘れず 継続は力、更なる発展に精進しませう。

監査役 渡辺一代

先輩が築いた道を 我々が守り 後継者が継承する。

沖建設 佐野吉男

出会ひ

沖建設 橋本道

沖建設 南雲 実

沖建設 宮田 洋陽

沖建設 庭野 吉枝

沖建設 高橋 由雄

沖建設 佐藤 一

おめでとう 御座います、 沖建設 庭野 利久

カールアの二段とし 頑張りなれと思ひます。

沖建設 大熊 聖

沖建設 根津 孝

今日も安全が第一

沖建設 西条 隆

安全第一

沖建設 野上 祐一

安全が第一

沖建設 俵 山 中

会社と家族は

敵いあい、愛しあい、信じあひ。

沖建設 桑原 善尚

個人が主 責任を欠かす 組織も崩壊する。

沖建設 池田 勝彦

今日も元気で 安全が第一 沖建設 田中 泰

沖建設 岩間 謙夫

沖建設 佐藤 二実子



【経営基本方針】

1. 我社はお客様の為にある（喜働自献）

私達の仕事は建設（モノづくり）を通じてお客様に奉仕することであり、売上はその総和です。利益はどれだけお役に立ち満足していただけたかのモノサシであり、お客様からの感謝のお返しです。私達がいくら仕事をしたくても、お客様が無ければ仕事はできません。

奉仕高→売上高 役立高→粗利益 感謝高→利益

私たちは心を込めて、お客様に奉仕します。

2. 我社は、働く者が協力、調和して物心共に豊かさと幸せを創造するところである（和敬興福）

会社は、ヒト、モノ、カネを調和して商品、サービスを提供し、奉仕→満足→利益→感謝の連鎖反応を繰り返しつつ、働く者の繁栄と生きがい創造する組織です。会社は利益とともに成長発展します。

利益なき経営は罪悪です。

利益の創造に一番重要なことは生産性を上げることです。

その為には、調和と共存の精神で最適な安全と品質を追求しなければなりません。

私たちは物心ともに豊かさと、幸せを創造します。

3. 我社は人間完成をめざして学習し、練磨する道場である（成徳達材）

すべての人間は、共存共栄の精神でお互いに奉仕し合い、学習して進歩向上し、

万生万物と調和して平和な環境をつくることを使命として生まれてきます。

それ故に、日々の仕事、生活、体験の全ては、人間形成の為の学習です。

職場で働く目的は、ただ単に給料を得るためだけでなく、勤労の汗と努力と共に、

人生の喜びと楽しさを味わいつつ、自己の向上と成長をはかるためです。

それ故に、会社を人生活学習と精神修養の道場にしてゆかねばなりません。

私たちは人間完成をめざして、学習し、練磨します。

【社 風】

「いのち(生命・使命)を輝かす。強く、温かく、そして美しく」

【社 命】

建設とはもの言わぬ神の意志に形を与えることである。

神の意志(天のみの心を地に現わす)→真・善・美・調和

【社 訓】

1. 凡事徹底のこと

どんな小さなことにも心を尽し、毎日着実に実行すること。

2. 無事故、無災害のこと

安全第一とし、絶対に事故を起こさないこと。

3. 責任完遂のこと

自分の仕事に責任をもち、何事にも勝つこと。

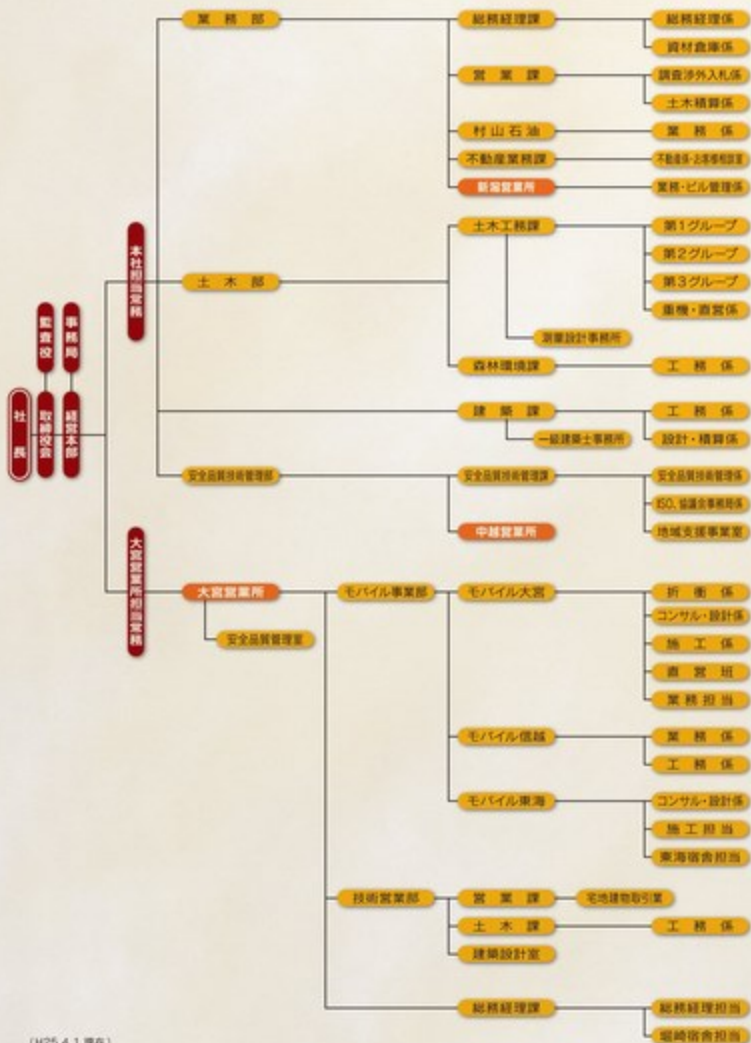
4. 信用第一のこと

建設業も商人であることを忘れず、商品を大切にすること。

5. 常に精進のこと

自主・自立の気概と勇気をもって、日々進歩向上をめざすこと。

〈組織図〉



(H25.4.1現在)

■ 土木・森林事業

わたしたちが暮らす地域社会になくならないのが、公共インフラです。土木部門では、これらの社会資本整備を通じた事業を実施しています。公共事業が中心となりますが、当社では、民間からの問い合わせが多いのが特徴であり、今後も力点を置いていきたいと考えています。安心して暮らせる地域社会の実現のため、新しい技術や知見を積み重ね、地域貢献に寄与していきます。

《事業への熱い思い》

インフラ整備は、地域社会の「安心・安全」に直結する大変重要な事業といえます。わたしたちの暮らす地域基盤が、より安全で、より安心して生活することができるよう、高い技術力と知恵を結集し、高品質な事業を実施しています。地域社会の発展と、災害など万が一に備えた基盤整備のため、強い使命感をもって業務に従事しています。長年にわたり積み上げてきた実績は、地域社会からの信頼の証でもあります。

《事業へのこだわり》

土木事業は、地域の暮らす人々の財産や生命を守ること、そして街づくり・地域づくりに関わる大切な事業です。村山土建は、総合建設業として培ってきたノウハウ、技術力、安全な実施体制等を駆使しつつ、地域への配慮を徹底して事業を遂行いたします。わたしたちは、より快適で利便性の高い地域づくりのため、多様な社会ニーズに対応していきます。

《将来を見据えた取り組み》

安心して暮らせる地域社会の実現のため、土木事業に関するプロフェッショナル集団を目指し、新しい土木技術や専門的な知見の獲得を推進しています。次の世代、その先の世代まで、安心して暮らせる地域基盤づくりに貢献すること、そのための取り組みを日々実践しています。社員研修や資格取得に向けた取り組みを積極的に推奨しているのもその一例です。



《森林事業について》

平成18年から森林環境課を新事業として立ち上げました。主な業務は、森林整備の他に、土木工事前の準備工としての草刈り・雑草の除去、災害後の山の土砂や倒木の片付けなど多岐に渡ります。仕事が地球規模での大きな役割を担っているという夢や志をもち、積極的に取り組んでいます。



建築事業

地域社会を構成している、あらゆる建築物の設計・施工に対応いたします。あたらしい商業施設、生産工場や社屋はじめ、お客さまのご要望を反映した多様な建築物のご提案を行っています。建築部門は「ものづくり」に関する総合コンサルタントを目指しています。

〈事業への熱い思い〉

高品質で環境性能に優れた建物を提案するため、お客さまニーズを取り入れながら、あらゆる方向性から検討した最適なプランを企画・立案いたします。わたしたちの提案した建物により、お客さまの事業発展、経営拡大に寄与すること、その結果としてお客さまから信頼されることに一番の喜びを感じます。建物への熱い思いは、お客さまの夢の実現、課題解決に向けて取り組む全社員の思いです。

〈村山土建だからできること〉

現在、国はじめ関係団体から、さまざまな補助金や助成金制度が募集されています。少しでもお客さまの事業にプラスとなるよう、最適なコスト削減制度をご提案させていただきます。専門知識と技術力を結集させた高品質で環境性能に優れた建物の提案により、将来を見据えた付加価値の高い建物をご提供いたします。お客さまとの信頼関係のもと、建物のメンテナンスはじめ中長期にわたる長いお付き合いを

通じたコンサルを実践いたします。リピーターが多いのは、私たちの誇りです。

〈将来を見据えた取り組み〉

お客さまのニーズは多様化しています。お客さま一人ひとりにマッチした最適提案を提供するため、常に新しい情報をキャッチする体制を整えています。環境負荷低減、省エネ・創エネ提案、耐震技術等、お客さま視点で将来を見据えたご提案を実施いたします。



モバイル事業

基地局折衝業務からコンサル・設計業務、施工、付帯試験までの通信業務一貫で作業を実施しております。モバイル事業部はモバイル事業を18年間21,000件以上の実績を有し、関東甲信ならびに神奈川、静岡の一部九県に及ぶ広範囲で業務を行っています。モバイル通信の普及及び高機能化に伴い、移動体通信事業は高速・大容量化時代を迎えよりきめ細かい基地局整備が求められています。当社は、移動体通信事業者様他向けの基地局設備設置場所のご提案及び建物・土地所有者（オーナー）様との交渉、施工設計、設置工事、機器調整までの業務を行っています。モバイル通信やモバイル機器を利用するお客様に早く安定した通信環境を提供するために、これまで培ってきた基地局設備の施工技術を最大限に発揮し迅速に対応いたします。



●業務内容

◆折衝業務——設置場所の提案

基地局設備設置の候補場所を調査・探査し、最適な設置場所、設置方法を事業者様にご提案します。候補場所においては、オーナー様に対して工事の内容をわかりやすく説明した上で、機器設置のための交渉・契約業務を事業者様に代わって行います。

◆コンサル・設計業務——無線設備等の設置計画
安全を第一に施工図面及び施工要領書により設置工事を行います。設置設備が安全に建設できるよう強度検討を実施した上で施工設計を行います。また、基地局の無線局免許申請書類等の作成支援も行っていきます。

◆施工——設置工事

アンテナ、無線設備等の機器設置のための置局設計を行います。機器の入れ替えや撤去等も仮設計画を十分に吟味した上で工法を決定いたします。さらに伝送路等の他の工事の立会いや機器調整作業等、開局（サービスイン）までのサポートも行っています。付帯試験等の無線工事の施工も行っております。さらに独自の施工方法を開発し特許も取得しております。[M・D式足場]（特許取得済）

会社名

株式会社村山建設 (MURAYAMA CONSTRUCTION CO.,LTD.)

住所

〒948-0031 新潟県十日町市山本町1丁目71番地1

電話・FAX

本社 TEL: 025-752-3721 / FAX: 025-752-3891
 総務・経理 TEL: 025-752-3721 / FAX: 025-752-3891
 営業 TEL: 025-752-2428 / FAX: 025-752-3891
 土木・森林 TEL: 025-752-2781 / FAX: 025-752-5675
 建築 TEL: 025-752-2269 / FAX: 025-752-5670
 不動産 TEL: 025-757-6347 / FAX: 025-752-5670
 モバイル TEL: 025-752-4093 / FAX: 025-752-4333
 大宮営業所 TEL: 048-687-7225 / FAX: 048-683-5404
 新潟営業所 TEL: 025-201-8671 / FAX: 025-201-8672
 中越営業所 TEL: 0258-34-9467 / FAX: 0258-34-9467
 村山石油 TEL: 025-757-3568 / FAX: 025-761-7695

設立

昭和20年10月

資本金

30,000,000円

役員

■ 株式会社 村山建設
 代表取締役社長 村山政文
 常務取締役 金井道廣
 常務取締役大宮営業所長 村山英剛
 取締役 山本安徳
 監査役 渡邊一代
 参与 村山ミチコ

■ 有限会社 沖建設
 代表取締役社長 住野孝男
 常務取締役 福岡 道

■ 株式会社 TEC MURAYAMA
 代表取締役社長 木村好一

主要取引金融機関

大光銀行 十日町支店
 第四銀行 十日町支店
 北越銀行 十日町支店
 新潟県信用組合 十日町支店
 JA十日町

指名参加機関

法務省
 経済産業省
 北陸地方整備局
 関東森林管理局
 さいたま市
 小千谷市
 東日本高速道路
 鉄道・運輸機構(北陸新幹線第2)
 鉄道・運輸機構(清算事業部)

防衛省
 国土交通省
 関東地方整備局
 関東財務局
 新潟市
 十日町市
 最高裁判所
 鉄道・運輸機構(東北新幹線)
 日本下水道事業団

建設業許可

- 国土交通大臣許可(特-19) 第14347号
 土木・建築・土石工・舗装・造園・管・電気通信、各工事業
- 国土交通大臣許可(般-19) 第14347号
 さく井工事業

許可業種

1. 一級建築士事務所 新潟県知事(ハ)第1254号
2. 測量設計事務所 国土交通大臣(第4)-22397号
3. 森林業認定事業体 新潟県知事 林 第961号
4. 産業廃棄物収集運搬業 新潟県知事 第1505038093号
5. 宅地建物取引業 国土交通大臣(1)第7947号
6. 石油類給油所 東 第05390号

ISO登録

JIS Q9001:2008 (ISO9001:2008) 登録番号 MSA-QS-728
 JIS Q 14001:2004 (ISO14001:2004) 登録番号 MSA-ES-782

加盟団体

社団法人 新潟県建設業協会
 社団法人 埼玉県建設業協会
 建設業労働災害防止協会新潟県支部
 新潟県宅地建物取引業協会
 埼玉県宅地建物取引業協会
 全国宅地建物取引業保証協会
 新潟県建築士会
 住宅性能保証制度登録店
 エースモール工法協会(泥土圧方式-工式(圧送掘土))
 新潟県コンクリートメンテナンス研究会
 十日町商工会議所
 さいたま商工会議所
 3SICP技術協会
 スワエール協会

関連企業

有限会社 沖建設 TEL: 025-757-3913
 株式会社 TEC MURAYAMA TEL: 048-796-8921

文部科学省
 環境省
 北陸農政局
 埼玉県知事
 三栄市
 川崎市
 労働者健康福祉機構
 鉄道・運輸機構(大阪支社)
 都市再生機構

外務省
 厚生労働省
 関東農政局
 新潟県知事
 長岡市
 熊谷市
 鉄道・運輸機構(北陸新幹線)
 鉄道・運輸機構(東京支社)

本社・営業所



関連会社



株式会社 村山土建

〒948-0031
新潟県十日町市山本町1丁目71番地1
TEL: 025-752-3721(代表)
FAX: 025-752-3891

村山土建 除雪センター(冬期間のみ)

〒948-0031
新潟県十日町市山本町1丁目141番地5(本社隣接)
TEL: 025-757-5440(FAX兼用)

村山石油

〒948-0031
新潟県十日町市山本町1丁目71番地2
TEL: 025-757-3568
FAX: 025-761-7695

大宮営業所

〒337-0053
埼玉県さいたま市見沼区大和田町2-1319-4 MDビル
TEL: 048-687-7225(代表)
FAX: 048-683-5404

新潟営業所

〒951-8116
新潟県新潟市中央区東中通一番町86-51 東中通ビル 6F
TEL: 025-201-8671(代表)
FAX: 025-201-8672

中越営業所

〒940-0867
新潟県長岡市豊2丁目7-4 ツィラユタカ101号室
TEL: 0258-34-9467(FAX兼用)

有限会社 沖建設

〒948-0031
新潟県十日町市山本町1丁目141番地5(本社隣接)
TEL: 025-757-3913
FAX: 025-757-3995

株式会社 TEC MURAYAMA

〒337-0053
埼玉県さいたま市見沼区大和田町2-1319-4(大宮営業所内)
TEL: 048-796-8921

夜明けの明星の・うた。

朝晴いうちに 夜明けりを頼りに
どこまでも どこまでも 東におか
って 歩き続けます。

その星のちと 働きものであった
父母も そのまた 祖父母も 働ほ
しの入った 二食の 弁当を持って
仕事に出かけるのが 常でした。

城らの民族日本は はるか古代か
ら代々早起きと身を粉にしての勤勉
によって 造られた誇り高き国です。

私の村からずっと遠く 東の彼方
に多くの人々から 昔産だと 敬慕
されて止まない 心が広く 暖かい
みち 早起きで 驚々とお帰休を
して 密かに園遊りに 助んでいら
れる 神様が あります。

この間 そのちがが、横写ハガキ、
千一冊目に入ったと そっこ あ
しえて くださいました。

支援者に生きる

この不思議な 習きをもっている
夜明けの明星の・うた。は 作者は
不明ですが、いつの頃からか 心が
篤い人々によって、ひそかに誦れ
る ように なりました。

この・うた。に捧げる人は 心が
ひろく やすらげになり 元気が出
てきて 励まされて がんばりに出さな
持ち場で 働いていても 正しく生
きて人々に喜んでいただく 真理
に生きる 支援者の人生を あびす
ことを。生きるよろこび。にする
みちに なるのです。



MURAYAMA DOKEN GROUP

MURAYAMA CONSTRUCTION 有限 株式会社
本社 東京都目黒区 東二子 3-15-15 (東二子駅前) 電話 03-3791-1111

2017年(平成29)10月1日発行

発行 人 村山 英文

編集 人 村山 英文

印刷 人 村山 英文

発行 人 村山 英文

印刷 人 村山 英文

発行 人 村山 英文

印刷 人 村山 英文

発行 人 村山 英文

印刷 人 村山 英文

発行 人 村山 英文

印刷 人 村山 英文

発行 人 村山 英文

© MURAYAMA CONSTRUCTION CO.LTD. 2017 in Japan

土木の言霊

古者民澤處復穴 冬日則不勝霜雪霧露
夏日則不勝暑熱蚊虻 聖人乃作
為之築**土構木** 以為室屋 上棟下宇
以蔽風雨 以避寒暑 而百姓安之

古きいにしえは民 澤處たくよし 復穴ふけつし 冬日とうじつは霜り 霜雪霧露をうらむに勝えず

夏日かじつは暑り熱蚊虻しとねつ本はうに勝えず 聖人なら作おこり

之にしがみに土を積み木を構へて 以て室屋しおくと為し 棟とうを上にし 宇うをすにし

以て風雨を蔽おほひ 以て寒暑を避けしめ 而してうじ百姓ひやくせいと安んず

「素戔嗚尊」(十三日書)

土木は、地域に暮らす人々の生活を守り、豊かな風土を作り上げていくためにある。
それCivil engineering(シビルエンジニアリング)と言えるのである。

土木とは、市民のための技術であり、豊かな地域文化を支える技術であることを、我等は肝に銘じなければならない。

MURAYAMA CONSTRUCTION CO.,LTD.

